

# 砂防ニュース 第31号

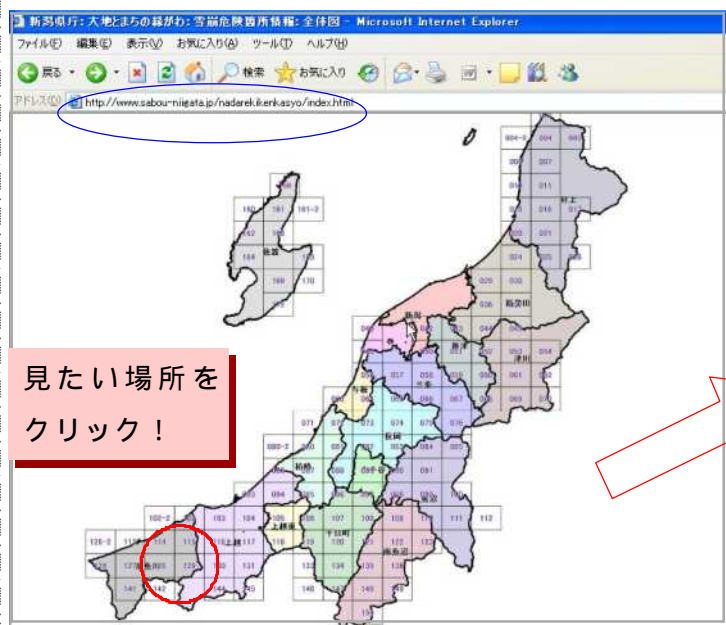
発行：新潟県土木部砂防課

発行日：平成21年11月20日

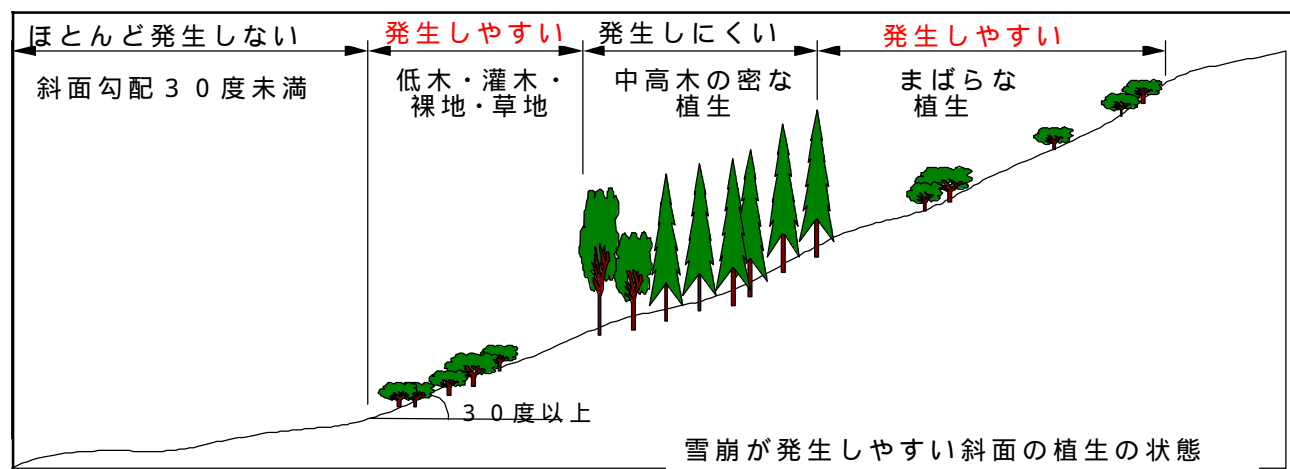
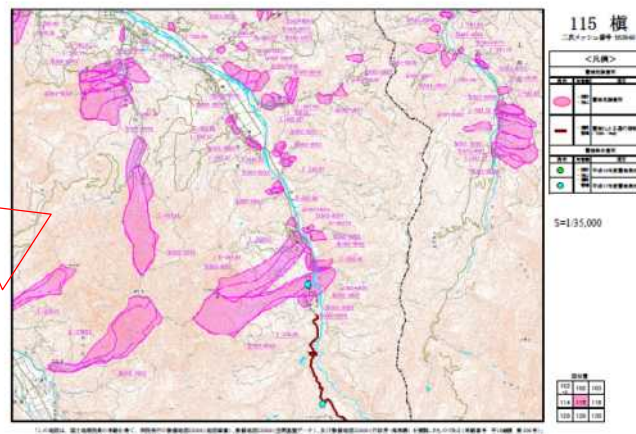
## 雪崩に気をつけましょう！ = 12月1日～7日は雪崩防災週間です =

まもなく本格的な雪の季節を迎えます。雪の多い新潟県では、毎年、雪崩が発生しています。雪崩はスピードが速く、起きてからは逃げることはできません。雪のない時から、雪崩れの起きやすい場所やどのようなときに起こるかを知っておくことが大切です。

新潟県では「なだれ危険箇所マップ」や「とってもあぶないなだれの話」を活用し、警戒を呼びかけているほか、ホームページ上でも35,000分の1危険箇所地図を掲載していますので、ご覧ください。



<http://www.sabou-niigata.jp/nadarekikenkasyo/index.html>



### 危険な場所

急な斜面が危険です。とくに、35～45度の間の斜面が一番危険です。また、低い木や草などしか生えていない斜面は注意が必要です。

### 危険なとき

急な積雪があったときは、雪の上の層が滑り落ちる表層雪崩の危険性があります。また、急な気温上昇があったときは、地面に積もった雪がすべて滑り落ちる全層雪崩が起きる可能性があります。

## 災害時要援護者関連施設における

## 警戒避難体制整備についての取り組み

平成21年7月21日山口県防府市において、土砂災害警戒区域に立地する特別養護老人ホームが土砂災害により被災したことを受け、緊急的に、関係機関と連携した災害時要援護者関連施設における警戒避難体制の整備に取り組んでいます。

### 災害時要援護者関連施設と協力した 土砂災害危険箇所の点検

災害時要援護者関連施設が立地する土砂災害危険箇所の点検を、県、市町村の防災担当者、および災害時要援護者関連施設の施設関係者が共同で実施しました。県内204の対象施設のうち、約6割の124施設について実施しました。（10月末現在）



### 災害時要援護者関連施設を対象とした 土砂災害防災訓練、講習会等の実施

土砂災害危険箇所に立地する災害時要援護者関連施設を対象とし、土砂災害に対する防災訓練（情報伝達訓練、避難訓練、講習会等）を実施しました。（県内5市町）



県では、これらの取り組みを引き続き関係機関と連携して行っています。また、土砂災害からの被災防止・減災には、みなさんの協力、すなわち「自助」が重要です。そのために必要となる情報は、県や関係機関からお知らせしています。災害が起きる前...平常時である今のうちにその内容をご確認ください。

## 土砂災害からあなたを守るために

避難場所、避難経路の確認をしましょう！

市町村では、土砂災害ハザードマップの整備が進んでいます。避難経路の確認をしましょう。

詳細は、各市町村にお問い合わせください。

土砂災害警戒情報を活用しましょう！

県では、気象台と共同で、土砂災害から身を守るため、避難の判断基準となる情報として「土砂災害警戒情報」を公表しています。この土砂災害警戒情報を含めた土砂災害に関する情報を、インターネットを利用した「土砂災害警戒情報システム」で配信していますので、ご活用下さい。

<携帯電話アドレス> [http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou\\_m/](http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou_m/)

<インターネットアドレス> <http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou/>



H21.11.20現在の新潟県の土砂災害警戒区域の指定数は 1133 特別警戒区域は 454 です。

## 「世界ジオパーク・糸魚川」に出かけてみませんか？

今年8月に糸魚川を含む3箇所が世界ジオパークに認定されました。

世界ジオパークとは「すぐれた地質遺産やそれに関連した動植物や文化遺産」であり、これを保護、活用し地域振興につなげるものです。

糸魚川は「糸魚川静岡構造線」など多様な地質構造が存在し、ヒスイをはじめ様々な鉱物、岩石が産出する地域です。

糸魚川ジオパークは24のジオサイトから構成されます



6. 糸静線と塩の道 (北部)  
断層露頭と古道



14. 蓮華  
氷河地形と火山噴気帯・露天風呂



15. 糸魚川海岸  
ヒスイと岩石学習



20. 焼山  
フォッサマグナ最北端の活火山

ヒスイ拾いの「糸魚川海岸」、氷河地形と露天風呂の「蓮華」、海底火山断面の「海谷渓谷」など各ジオサイトは個性的で楽しみ方も様々です。また活火山が特徴の「焼山」ジオサイトでは火山にまつわる施設として火打山川砂防えん堤が見所のひとつにあげられています。

いま世界が注目！「世界ジオパーク・糸魚川」へ出かけてみませんか。

糸魚川ジオパーク情報は糸魚川市ホームページが便利です（<http://www.city.itoigawa.niigata.jp>）

## 市民活動・現場からのメッセージ 県内の防災活動を行っている団体を紹介し

### 課題は「防災ひとづくり」 新潟県災害救援機構



7.13水害では避難所づくりを手伝い、中越地震ではその日の深夜に被災地に入り赤十字の活動を支援しました。中越沖地震では医療を必要としている被災者の把握に奔走しました。災害になると全国からボランティアがかけつけます。この人たちの安全確保やコーディネートも活動範囲です。

このようにNPO法ができる前の昭和50年から災害の時真っ先に駆けつけ力になりたい。そんな願いを持った仲間が集まっ

て活動しているのが「新潟県災害救援機構」です。

日頃は地域の防災地域づくりに取り組み、イベントでは参加者への安全確保の活動が得意です。総務省消防庁の防災まちづくり大賞をいただくなど通信設備や炊きだしの資機材は「日本一」を誇っていますが、防災ひとづくり、仲間づくりがこれからの課題です。



## 資料館に行つて砂防を体験しよう！・・・雪崩資料館（糸魚川市）

今から約20年前の1986年(昭和61年)1月26日深夜、糸魚川市(旧:能生町)柵口地区の権現岳中腹から大規模な「表層雪崩」が発生。多くの人家を押し潰し、死者13名、負傷者9名の大惨事となりました。



当時の救出状況

表層雪崩とは、降り積もった雪の上層が、下層を残したまま滑り落ちる雪崩で、全層が滑り落ちる雪崩よりもスピードが速く、この時は約1800mの距離を時速200kmのスピードで流れ下ったと言われています。その



雪崩資料館（内部）

示した「雪崩資料館」が平成6年に設置され、雪崩のメカニズムや対策のいろいろを知ることができます。また、資料館隣りには、市営の柵口温泉「権現荘」があり、日帰り入浴や宿泊ができます。一度訪れてみてはいかがでしょうか？

料金無料。予約時のみ開館します。（問い合わせ先 権現荘 025-568-2201）

## ご意見・ご感想・情報などをお寄せください。（次号は2月末発行予定）

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1 新潟県土木部砂防課

TEL（直通）： 025-280-5424 FAX： 025-285-9724

E-メール： ngt080090@pref.niigata.lg.jp

ホームページ： <http://www.pref.niigata.lg.jp/sabo/index.html>



新潟県